

令和4年南アルプス市議会第2回定例会（6月）

市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、これからの市政運営の取り組みについて、所信の一端を申し上げます。

令和4年2月に始まった、ロシア軍のウクライナ侵攻により、尊い命を落とされたウクライナの多くの方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、謹んで哀悼の意を表します。本市では、令和4年3月14日より、ウクライナを支援するため、募金を受け付けしております。募金にご協力いただいた方に「ひまわり」の種を配布し、市内にひまわりを咲かせ、ウクライナの方々的心里に寄り添うことを表明する「南アルプス市ひまわりプロジェクト」を実施しております。

続きまして、新型コロナウイルス対策について、新規感染予防や重症化リスクの軽減のため、今後も継続してワクチン接種を勧奨してまいります。新型のウイルス株の情報や、一定期間経過後のワクチンの接種効果が低減する状況を踏まえ、4回目のワクチン接種について、60歳以上の高齢者や基礎疾患のある方の接種のほか、国における接種方針の具体化の動向を注視する中で、接種体制の整備について、遅滞のないよう万全を期してまいります。

更に、新型コロナウイルス対策とともに、原油価格をはじめ、物価の高騰が著しい中、地方創生臨時交付金、原油高騰対策、生活困窮者支援など、国の経済対策の骨子が示されておりますので、地方創生臨時交付金等を活用した支援策の検討を進め、速やかな事業実施に繋げてまいります。

続きまして、現在、進めております主な政策につきまして、ご報告いたします。

はじめに、「新産業拠点整備参入企業及び周辺整備」についてであります。

「人々が集い、地域と繋がる集客交流拠点」をコンセプトに掲げて、昨年10月から公募方式による企業誘致を進めてまいりました。

現在は、審査結果を基に選定した事業候補者との間で、事業計画などの最終的な土地利用協議をしており、6月の公表を目途に、誘致企業の決定に向けた準備を進めております。

地域の魅力や交通環境を最大限に活かした本市ならではの集客交流拠点を創出し、活力ある新たな街の創造への第一歩を踏み出すとともに、地域と繋ぐ玄関口としての役割に鑑み、更なる拠点機能の構築と事業の早期実現に向けて、鋭意取り組んでまいります。

次に、「ふるさと納税、移住、定住事業の推進」についてであります。

令和3年度における最終的な寄附額は、1,630,000,000円を超え、令和2年度から

約3割の増加となる見込みであります。また、令和4年度は、まち・ひと・しごと総合戦略の重点施策であり、行政経営方針でも最優先施策としました「移住定住人口の拡大」を更に推し進めるため、既存のふるさと振興室を、ふるさと納税担当と、移住定住担当を配した「ふるさと振興課」に改編しました。

今年度は、市のホームページ内の移住定住サイトをリニューアルし、より分かりやすい情報発信に取り組むとともに、お試し居住事業、お試し滞在補助事業を展開することにより、移住、定住施策の推進を図ってまいります。

次に、「市民参加によるシティプロモーション」についてであります。

南アルプス市を広く、県内外に発信していくためには、多くの市民の皆さまに、まちの魅力や、情報を発信するシティプロモーション活動に参加していただき、活動の輪を広げていくことが重要であります。

令和4年度は、市民団体によるプロモーション事業、インスタグラムを活用した情報発信などの事業を進めてまいります。

次に、「企業誘致の推進」についてであります。

現在は、下今諏訪、御勅使南の両工業団地ともに、来年3月末の造成工事完了に向け、順調に工事が進捗しております。

また、下今諏訪工業団地に隣接の拡張予定地についても、昨年度末に用地測量・補償内容等の調査業務が完了し、現在、地権者個別説明会にてご理解をいただく中で、土地売買契約の締結に向け、鋭意進めております。

次に、「保育料無償化」についてであります。

市長就任以来、掲げてまいりました公約であり、市民の皆さまとのお約束を果たせたことは、大きな前進であると捉えております。

子育て支援については、様々な角度からの支援を要するものでありますので、今後も皆さまのご意見に丁寧な耳を傾けながら、進めてまいります。

次に、「民間保育所活動支援事業」についてであります。

市内企業のジット株式会社が運営する「にこにこキッズ保育園」を、本社付近の南アルプス市和泉地内に移転新築するにあたり、本市としても補助をしております。

また、公立保育所三施設、若草地区のマコト愛児園、並びに社会福祉法人ゆうゆうが、西野地区の古民家を改築し、運営する一時預かり保育についても、利用者負担金を無償化してまいります。

次に、「こども家庭相談課」についてであります。

こども家庭相談課は、虐待、発達障害、ヤングケアラーによる子どもの権利擁護等

に係る問題について、福祉、保健、教育等の関係機関と連携し、「子ども家庭総合支援拠点」として対応するため、新たに設置したものであります。

課内には「相談支援担当」及び「途切れのない支援担当」の2担当を置き、10名の人員を配した体制としており、課の新設により、子どもや子育て世帯への支援を、より一層充実してまいります。

次に、「お悔やみ窓口の開設」についてであります。

今年度から、本庁舎、戸籍市民課カウンターに開設した「お悔やみ窓口」では、ご遺族の負担軽減のため、必要な手続きのお手伝いと各窓口への案内をしております。

利用方法については、ウェブ予約及び電話からの事前予約制とさせていただいており、これまで、書類等の不備によって、再来庁していただくことがありましたが、事前予約制にすることにより、このようなケースを減らすことができると考えております。

お悔やみ窓口については、初めての試みでありますので、様々なケースを想定する中で、利用される皆さまのお声をお伺いしながら、より良い環境づくりに努めてまいります。

次に、「観光振興」についてであります。

南アルプスの夏山シーズンの幕開けとなります「南アルプス開山祭」を、6月25日に広河原で開催いたします。今年度は、開山祭に合わせ、「新広河原山荘」のオープニングセレモニーを挙行いたします。

新しい山荘は、自然環境を楽しむために訪れる一般観光客など、新たな宿泊層をターゲットとした個室を完備しており、南アルプス山岳観光の拠点として、高付加価値化を図ってまいります。

次に「若草保育所新築整備事業及び若草地区拠点周辺整備事業」についてであります。

若草保育所新築整備については、4月下旬より、機関車解体撤去工事を開始し、5月からは園舎北側駐車場進入路工事等に着手しております。

今後は、若草地区拠点周辺整備事業により、駐車場整備や防災備蓄倉庫の移設、周辺の歩道整備を含む道路拡幅工事等、複数の工事を着手してまいります。

また、若草小学校改築事業については、本定例会に仮設校舎の実施設計に係る予算を上程しており、年度内において、仮設校舎の工事及びリース契約締結に向けて取り組んでまいります。

最後に「脱炭素化社会、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み」についてであります。

今年度は、本庁舎駐車場に電気自動車用の急速充電機を新規に設置する計画や、公共施設における照明のLED化などの推進に向けて取り組んでまいります。

今年度においても、新型コロナウイルス感染症対策の継続を余儀なくされる中ではありますが、地方創生関連事業の推進をはじめ、私の2期目の任期最終年となりますので、市民の皆さまとの約束を果たすため、「住んでいて良かった、住み続けたい」と実感していただける南アルプス市に向けて、組織一丸となり、全力で取り組んでまいります。